

令和2年度 学校評価

我孫子市立白山中学校

1 学校教育目標及び重点目標に対する学校アンケート（生徒・教職員・保護者）結果と考察

（生徒）

令和2年度学校評価アンケート（生徒）

		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そうは思わない
○学校目標について					
①	学校目標（みがき合い、支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒を目指す）や学校スローガン「自律・共生・創造」、学年目標等を意識することができた。	22%	60%	14%	2%
○小中一貫教育について					
②	職業人講話や校外学習、古都事前学習等を通して、ふるさと我孫子のよさを見直し、誇りを持つことができた。	26%	47%	21%	4%
③	授業に意欲的に取り組んだ。	52%	41%	5%	0%
④	様々な活動に目標を持ってチャレンジできた。	45%	42%	10%	1%
⑤	自分に自信を持つことや相手の立場や気持ちを大切にすることができた。	47%	44%	6%	0%
○学校生活について					
⑥	アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）による授業が多くなってきた。	35%	46%	15%	2%
⑦	授業がわかりやすく、落ち着いて受けることができた。	36%	50%	11%	1%
⑧	友人関係や他者とのコミュニケーションがうまくできた。	57%	34%	6%	1%
⑨	いじめや暴力のない学校生活に努めた。	72%	23%	3%	0%
⑩	避難訓練や感染症対策を通して、災害や病気に対して備える心構えができた。	61%	34%	3%	0%
⑪	学校の諸活動等（授業・部活動等）を通して、体力向上に努めた。	58%	30%	8%	2%
⑫	学校行事に積極的に参加することができた。	56%	32%	8%	1%
⑬	係・委員会活動や部活動に積極的に取り組むことができた。	63%	28%	6%	1%
⑭	三つの伝統「あいさつ」「歌声」「清掃」を、意識して取り組んだ。	47%	43%	8%	1%
⑮	公共のルールやマナーを守れるように取り組んだ。	70%	27%	2%	0%
⑯	日頃、人のために役に立つ行動、活動に努めている。	42%	47%	8%	1%
⑰	保護者や地域の人たちが、自分たちの活動を見守ってくれていると感じる。	47%	40%	10%	2%

※小数点未満切り捨て

【生徒アンケート結果の考察】

○アンケート内容については昨年度と異なり、小中一貫教育という観点から中学校区でアンケート内容を統一した。そのため、昨年度のアンケート結果との正確な比較はできないが、昨年度と同じような質問等については比較を行う。

○そう思う、だいたいそう思うでは、①番以外はすべて80%以上という高い評価が返ってきた。中でも「③番、授業に意欲的に取り組んだ」90%「⑤自分に自信を持つ」91%「⑧友人関係」91%「⑨いじめや暴力」95%「⑩避難訓練、感染症対策」「⑬係、委員会活動」91%「⑭三つの伝統」90%「⑮公共のルールやマナー」97%台と8項目が90%を越える高い結果となった。14番は本校の目指す生徒像の「情操豊かで品位がある生徒」を実現しようとしたものであり、生徒、教職員ともに、あいさつや思いやりある行動をしようとして取り組んできたので、目に見える変化として捉えることができ、実感を持って受け止められたものとする。また、10番については本年度実施できなかったが、おやじの会主催「防災キャンプ体験」や学期毎に行った避難訓練が生徒の意識に定着しつつあると考える。そして、新型コロナウイルス感染拡大防止に対する日々の防止対策や、保護者による消毒ボランティアの活動等行っていただいたことが意識向上につながった。

○「①. 学校、学年目標への意識」82%は昨年度より若干下がったが、白山中プライドを生徒や教職員ともにコロナ禍の中、様々な学校生活において心をひとつにして取り組んできた結果と思われる。「⑥アクティブラーニング」については前年度の学校評価項目に有り、一昨年は96%、昨年度は94%、今年度は81%と徐々に下がっているが、今年度に限り、新型コロナウイルス感染防止のため、あえて実施しなかったことが影響されているものとする。また、アクティブラーニングが定着してきたことで、生徒は特別な意識がなくなったことによるものだと考える。来年度は質問の内容を変え、深く聞く必要があると考える。

○教職員・生徒が共通の土俵で取り組んできたことは、成果としても顕著に表れ、達成感も得られている。結果として【目指す生徒像】の4つの項目についても十分に迫ることができたと考えられる。(以下の数は該当の項目番号)

- ・自ら学び、思考、表現する生徒…③、⑥、⑦
- ・情操豊かで品位ある生徒…②、⑭、⑮、⑯
- ・思いやり、助け合える生徒…⑤、⑨、⑧、⑰
- ・健康でたくましい生徒…④、⑩、⑪、⑫、⑬

★ 次なる課題は、評価「大体そう思う」をどのように「そう思う」へ上げて行くかということである。「そう思う」の評価が少ない項目（40%未満の項目）に焦点を当てて取り組むことである。それが全体への働きかけとなり、評価1や評価2、無回答の数を減らすことにもつながっていくと考える。そして、それぞれの学年・学級・部活動・委員会等で具体的な改善策を考え、実践し、次年度につなげていきたい。

(教職員)

令和2年度 学校評価アンケート (教職員)

		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そうは思わない
1. 小中一貫教育の推進					
(1) 郷土愛を育てる教育の推進					
①	1年生で地域の方から学ぶ「職業人講話」(3学期)、2年生で「佐原への校外学習、校内キャンプファイヤー」(2学期)、3年生で「古都事前学習」「校外学習」(3学期予定)等を実施し、地域の方との出会い、他地区への訪問を通して、ふるさと我孫子のよさを見直し、誇りに思う子どもを育てる教育を行っている。	40%	44%	15%	0%
(2) 学びを育てる教育の推進					
②	「自ら、共に学び、活用できる生徒をめざす」を目標に、A.聞き合える人間関係づくり B.意欲的を引き出す学習課題 C.自分の言葉で授業内容をまとめる習慣づくり D.より良い学習方法を探る振り返りシート実施 に取り組み、確かな学力を持ち、夢を持ちチャレンジする子どもを育てる教育を行っている。	42%	55%	1%	0%
(3) こころを育てる教育の推進					
③	「いのちを大切にする道徳の授業」「いじめを認めない仲間づくり」「笑顔のあいさつ、心を磨く清掃、美しく響く歌声の三つの伝統」「生徒主体の学校行事・生徒会・部会・部活動」に取り組み、自分に自信を持ち、自他を大切にする教育を行っている。	53%	34%	11%	0%
2. 本校の学校教育目標実現のための教育活動					
①	本校の学校教育目標や経営の重点を理解している。	48%	48%	3%	0%
(1) 授業改善					
②	「主体的・対話的で深い学び」の視点で、授業改善に取り組んでいる。	36%	57%	3%	0%
③	ユニバーサルデザインの視点を持ち、見やすい板書・プリント、落ち着いた学習環境づくりに取り組んでいる。	32%	55%	11%	0%
(2) 心の教育					
④	様々な教育活動を通じて、友情、信頼、よりよい仲間づくり、思いやり、責任感を育てている。	51%	42%	5%	0%
⑤	道徳の授業を通じて、友情、信頼、よりよい仲間作り、思いやり、責任感を育てている。	46%	48%	5%	0%
(3) 安心安全					
⑥	避難訓練、自転車安全教室、感染症対策等を通して、危機災害に備える指導が行われている。	54%	43%	1%	0%
⑦	毎月の管理点検で不具合があれば改善するなど、学校施設や設備の整備に努めている。	38%	48%	11%	0%
⑧	体育祭や部活動、冬季トレーニング等を通して、生徒の体力向上に努めている。	57%	40%	1%	0%
(4) 生徒主体					
⑨	学校行事・生徒会活動・部活動等を通じて、生徒が生き生きと取り組む、生徒主体の活動が行われるよう努めている。	50%	40%	9%	0%
(5) 三つの伝統					
⑩	「あいさつ」「歌声」「清掃」を意識させ、向上するように働きかけている。	46%	46%	7%	0%
(6) 社会貢献					
⑪	生徒の係活動、委員会活動、ボランティア活動を通して、人のために役に立つことに努める生徒を育てている。	38%	50%	11%	0%
⑫	持続可能な社会を作れるよう、SDGsの活動を意識するよう努めている。	21%	23%	50%	3%
⑬	PTAやおやじの会、家庭や地域、関係機関と連携協力をするように努めている。	48%	42%	9%	0%

※小数点未満切り捨て

【教職員アンケート結果の考察】

2－(6)－⑫以外の項目で、(そう思う・まあそう思う)が80%を超えた。85%を超えなかったのは「①ふるさと我孫子の良さ・⑫SDGs」の2つである。

【※SDGs…持続可能な開発目標の略称。2016年から2030年までの15年間で世界が達成すべき17項目のゴールを示したもの。】

☆① (そう思う)という評価が50%以上のよい評価項目は5次の項目である。

- ・ 1－(3)－③「自他を大切にす教育」 53%
- ・ 2－(2)－④「責任感を育てている」 51%
- ・ 2－(3)－⑥「危機災害に備える指導」 54%
- ・ 2－(3)－⑧「体力向上に努めている」 57%
- ・ 2－(4)－⑨「生徒主体的な活動」 50%

☆② (そう思う・だいたいそう思う)が90%を超えた上記①を除いた高い評価項目次の2項目である。

- ・ 1－(2)－②「夢を持ちチャレンジする子どもを育てる」
- ・ 2－① 「学校教育目標や経営」

☆③上記②を除き、(そう思う・だいたいそう思う)が85%を越えたものは次の4項目である。

- ・ 1－(3)－③「自他を大切にす教育」 87%
- ・ 2－(1)－③「学習環境づくり」 87%
- ・ 2－(3)－⑦「学校施設や設備の整備」 86%
- ・ 2－(6)－⑪「人のために役立つことに努める」 88%

★④ (そう思う)が40%未満で低い項目は、以下の5項目である。

- 2－(1)－②「主体的・対話的で深い学び」 36%
- 2－(1)－③「ユニバーサルデザインの視点」 32%
- 2－(3)－⑦「学校施設や設備の整備」 38%
- 2－(6)－⑪「人のために役立つことに努める」 38%
- 2－(6)－⑫「SDGsの活動」 21%

<今後取り組むべき具体例>

- ・「ふるさと我孫子のよさを見直し」を引き上げるために…ふるさと我孫子活用の工夫と地域学習の充実。
- ・「三大伝統」をさらに引き上げるために…委員会活動や部会活動のさらなる活性化。
- ・「楽しい生活」をさらに引き上げるために…授業や特活などで学級レクの実施することで仲間づくりの意識の向上を図る。
- ・「わかる授業」を引き上げるために…学習課題、思考の足跡とポイントがわかる板書計画。
- ・「特別支援教育」を引き上げるために…困り感を持った生徒がいたとき、それぞれの特性を考慮した具体的な手立ての実行。
- ・「長欠対策」を引き上げるために…長欠生徒に対する次年度に向けた指導計画の立案。
- ・「SDGsの活動」を引き上げるために…生徒会を中心に委員会活動や部会活動での周知、さらなる活動の活性化。

(保護者)

令和2年度 学校評価アンケート (保護者)

1. 小中一貫教育の推進

我孫子市では、小中一貫教育を中学校区で実施しています。白山中区の小中一貫教育の目指す15歳の子ども像は「共に支え合い、たくましく生きようとする15歳」です。

(1) 郷土愛を育てる教育の推進

		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	未回答
①	学校は、1年生で地域の方から学ぶ「職業人講話」(3学期)、2年生で「佐原への校外学習、校内キャンプファイヤー」(2学期)、3年生で「古都事前学習」「校外学習」(3学期予定)を実施し、地域の方との出会い、他地区への訪問を通して、ふるさと我孫子のよさを見直し、誇りに思う子どもを育てる教育を行っている。	19%	62%	13%	2%	1%

(2) 学びを育てる教育の推進

②	学校は、「自ら、共に学び、活用できる生徒をめざす」を目標に、A.聞き合える人間関係づくり、B.意欲的を引き出す学習課題、C.自分の言葉で授業内容をまとめる習慣づくり、D.より良い学習方法を探る振り返りシート実施、に取り組み、確かな学力を持ち、夢を持ちチャレンジする子どもを育てる教育を行っている。	19%	60%	16%	1%	1%
---	--	-----	-----	-----	----	----

(3) ころを育てる教育の推進

③	学校は、「いのちをたいせつにする道徳の授業」「いじめを認めない仲間づくり」「笑顔のあいさつ、心を磨く清掃、美しく響く歌声の三つの伝統」「生徒主体の学校行事・生徒会・部会・部活動」に取り組み、自分に自信を持ち、自他を大切にしている教育を行っている。	24%	65%	7%	1%	1%
---	---	-----	-----	----	----	----

2. 本校の学校教育目標実現のための教育活動

本校の教育目標は「みがき合い、支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒を目指す」です。この実現を目指し、本校の合言葉として、「自律 共生 創造」を掲げて、白山ブランド「白山中魂」構築に取り組んでいるところです。

(1) 授業改善

④	学校は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、意欲を引き出す学習課題の設定、素材(映像教材・参考資料・プリント等)の工夫、仲間とともに学ぶ学習、まとめと振り返りシートの活用による授業内容の改善に取り組んでいる。	16%	62%	18%	1%	1%
⑤	学校は、ユニバーサルデザインの視点を持ち、見やすい板書・プリント、落ち着いた学習環境づくりに取り組んでいる。	12%	61%	23%	2%	1%

(2) 心の教育

⑥	学校は、学級活動・学校行事・生徒会活動・部活動等を通じて、友情、信頼、よりよい仲間づくり、思いやり、責任感を育てている。	28%	61%	8%	1%	0%
⑦	学校は、道徳の授業を通じて、思いやりや命の大切さ、いじめを許さない強い気持ちを育てている。	22%	61%	13%	1%	1%

(3) 安心安全

⑧	学校は、避難訓練、自転車安全教室、感染症対策などを行い、子どもが安心安全に学校に通えるよう、教育活動に努めている。	26%	62%	8%	1%	1%
⑨	学校は、学校施設や設備の整備に努めている。	19%	64%	12%	1%	1%
⑩	学校は体育の授業や体育祭、部活動、冬季トレーニング等を通して、子どもの体力向上に努めている。	38%	53%	6%	0%	1%

(4) 生徒主体

⑪	学校は、学校行事・生徒会活動・部活動等を通じて、生徒が生き生きと取り組む、生徒主体の活動に努めている。	29%	58%	9%	1%	0%
---	---	-----	-----	----	----	----

(5) 三つの伝統

⑫	学校は、あいさつ、清掃、歌声の向上に積極的に取り組んでいる。	34%	55%	8%	0%	0%
---	--------------------------------	-----	-----	----	----	----

(6) 社会貢献

⑬	学校は、生徒の係活動、委員会活動、ボランティア活動を通して、人のために役に立つことに努める生徒を育てている。	24%	60%	12%	1%	0%
⑭	学校は、持続可能な社会を作れるよう、SDGsの活動を進めている。	9%	54%	30%	3%	1%
⑮	学校は、PTAやおおじの会の協力を得て、家庭・地域と連携協力し、教育活動を進めている。	22%	61%	13%	2%	0%

※小数点未満切り捨て

☆①（そう思う・まあそう思う）が4項目以外、11項目が80%を超えた。また85%を超えた項目は5項目である。

- ・1－（3）－③「自他を大切にする教育」89%
- ・2－（2）－⑥「より良い仲間づくり」89%
- ・2－（3）－⑧「安心安全に学校に通える」88%
- ・2－（3）－⑩「体力向上に努めている」91%
- ・2－（4）－⑪「生徒主体な活動」87%
- ・2－（5）－⑫「挨拶・清掃・歌声の向上」89%
- ・2－（6）－⑬「ボランティア活動を人のために役立つ」84%
- ・2－（6）－⑮「家庭・地域との連携」83%

☆②（そう思う・まあそう思う）が①を除き、80%を超えた項目は5項目である。

- ・1－（3）－③「自他を大切にする教育」89%
- ・2－（2）－⑥「より良い仲間づくり」89%
- ・2－（3）－⑧「安心安全に学校に通える」88%
- ・2－（3）－⑩「体力向上に努めている」91%
- ・2－（4）－⑪「生徒主体な活動」87%
- ・2－（5）－⑫「挨拶・清掃・歌声の向上」89%
- ・2－（6）－⑬「ボランティア活動を人のために役立つ」84%
- ・2－（6）－⑮「家庭・地域との連携」83%

☆③（そう思う）という評価が50%以上のよい評価項目については生徒、教職員に比べかなり評価は低く1項目もないが、（大体そう思う）評価は高い。その中でも（そう思う）という評価30%を超えるものは2項目であった。

- ・2－（3）－⑩「体力向上に努めている」38%
- ・2－（5）－⑫「あいさつ・清掃・歌声」34%

☆④（だいたいそう思う）が60%を超えた高い評価項目は11項目である。

- ・1－（1）－①「自他を大切にする教育」・・・62%
- ・1－（2）－②「夢を持ちチャレンジする子ども」・・・60%
- ・1－（3）－③・・・「自他を大切にする教育」・・・65%
- ・2－（1）－④・・・「主体的・対話的で深い学び」62%
- ・2－（1）－⑤・・・「ユニバーサルデザインの視点」61%
- ・2－（2）－⑥・・・「仲間づくり・思いやり・責任感」61%
- ・2－（2）－⑦・・・「いじめを許さない強い気持ち」61%
- ・2－（3）－⑧・・・「安心安全に学校に通える」62%
- ・2－（3）－⑨・・・「学校施設や設備の整備」64%
- ・2－（6）－⑬・・・「人の為に役に立つ」60%
- ・2－（6）－⑮・・・「家庭・地域との連携協力」61%

☆⑤（そう思う・だいたいそう思う）が85%を越えたものは次の5項目である。

- ・1－（3）－③・・・「自他を大切にする教育」・・・89%
- ・2－（2）－⑥・・・「仲間づくり・思いやり・責任感」61%
- ・2－（3）－⑧・・・「安心安全に学校に通える」89%

- ・ 2－(4)－⑪・・・「生徒主体な活動」 87%
- ・ 2－(5)－⑫・・・「挨拶・清掃・歌声の向上」 89%

★⑥（そう思う）が20%未満で低い項目は、以下の6項目である。

- ・ 2－(1)－④・・・「主体的・対話的で深い学び」・・・36%
- ・ 2－(1)－⑤・・・「ユニバーサルデザインの視点」・・・32%
- ・ 2－(3)－⑨・・・「学校施設や設備の整備」・・・38%
- ・ 2－(6)－⑬・・・「人のために役立つことに努める」・・・38%
- ・ 2－(6)－⑭「・・・SDGsの活動」・・・21%

<今後取り組むべき具体例>

今年度については特に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者が参観する行事等はほぼ中止となった。そのため学校の取組等についてはあまり情報はなく、保護者評価が昨年よりもやや低いのではないかと考える。保護者には、学校理解と協力を図るためにホームページや学校便り、学年便り学級通信等で今以上に工夫し、発信していくことが必要である。

- ・「主体的・対話的で深い学び」…保護者への発信や授業以外での活用の工夫
- ・「ユニバーサルデザインの視点」…計画的な職員研修
- ・「学校施設や設備の整備」…見通しを持った計画的な整備
- ・「人のために役立つことに努める」…キャリア教育、体験活動の充実
- ・「SDGsの活動」…職員理解と委員会活動のさらなる活性化

2. 学校関係者評価について（PTA役員の意見・感想等）

○生徒アンケートについて

・⑨「いじめや暴力」⑩「避難訓練・感染症対策」の「そう思わない」が0%なので良かった。近年問題のいじめ、コロナに対する感染症対策、子どもたちに真剣に取り組んでいる結果だと思う。⑰「保護者や地域の方の見守り」が思ったよりも低いと思う。PTA役員としては今後も取り組んでいきたい。通学途中の不審者など、心配に思っている子どもたちがいるのかもしれない。今年度の制限された生活の中、行事が減ったにもかかわらずこのようなアンケート結果になり、「そう思う、大体そう思う」がほとんどを締めることができた。白山中の先生方の努力の結果だと思う。

- ・「あまりそう思わない」が多くなっている項目はコロナ感染防止対策を行っている状況下では仕方ないことだと思う。休校期間があって、学校再開したときは色々不安なこともあったと思うが、アンケート結果や実際の生徒達の様子を見ても落ち着いて学校生活を送ることができていたと思う。先生方が出来るだけの努力をしてくれたお陰と思う。
- ・「あまりそう思わない」「そう思わない」と答える生徒が一人でも「大体そう思う」に思えるように今後ご指導をお願いしたい。生徒達も中学校生活をしながら、大人になっていく。コロナ禍ではあるが、思い出に残る中学生活になるようこれからもお願いしたい。白山中での学校生活を通じてよい生活が送れたと生徒・保護者とも思っている。ありがとうございました。

○保護者アンケートについて

・コメントにあったように今年度は直接参観や行事で学校での姿を見ることができず、「そう思う」という方に○を付けることができず、「大体そう思う」に付けた方が多かった。このようなコロナの状況にもかかわらず、子どもが嫌がらず学校に行っていて楽しんでいるということは、親にとってはありがたく安心できた。

- ・今年度は保護者が学校に来る機会もほとんどなく、学校の様子がわかり辛かったと思う。それが「そう思う」が少なくなっている原因ではないか。

○全般的な意見・感想

- ・日頃から先生方は私たち PTA 研修会の意見をすぐに取り入れ、対応していただいていることに感謝している。部活動の大会が中止になり、テストの回数が少ないからか、だらだらと目標のない一年だった。土曜日曜の使い方、朝練のない分時間が余っているはずなのにうまく使えず、親もコロナのためあまり厳しく言えず、そのまま時間だけが過ぎてしまった。もっとやる気が出るよう、先生の力が必要である。宜しくをお願いします。
- ・色々な行事が出来なくなったり、部活動では大会も中止になっているが、子どもたちは「どうせ出来ないんだから」と消極的になるのではなく、前向きに明るく過ごしていると思う。先生方の取組のおかげと思っている。
- ・全体的に見て思うのは、一部の質問について、学校での具体的な取組がわかりにくいこともあり、保護者の回答の多くが「大体そう思う」に集中している。正直なところ、アンケートに答えるのに悩んだところもあった。
- ・理想的には保護者と教職員の回答傾向が合致することだと思う。学校で具体的に取組んでいただいた内容については紐付いている質問項目と友に「こういう教育課程に対してこのように取組んでいる」というのを折に触れて具体的に示していただけるともっと保護者に伝わるように思う。PTA 本部にいると先生方の一生懸命な取組がよくわかるのだが、おそらく一般の保護者にはそれほど伝わっていないようで残念に思うので、もっとアピールしてもらいたいと思う。
- ・コロナ禍での一年間、学校運営も大変だったと思う。大きな混乱もなく生徒達が過ごせたことを感謝している。コロナウイルスに関して大人より子どもたちの方が冷静に対応しているという話を聞いたことがある。白山中の生徒達も例外ではないと感じている。また不祥事が起きたときも学校側からきちんとした説明があったため、保護者の混乱もそれほどなかったことに学校との信頼関係を強く感じた。このような環境で子どもが無事卒業できることを嬉しく思う。

3. 第三者評価について（学校評議員）

- ・アンケートの質問の内容が重要である。項目の中に答えにくいもの（1番）があるのではないかな。
- ・生徒や先生は自己評価なので高い評価が出がちである。しかし保護者や第三者の評価は厳しくなる。だからこそ大切である。
- ・実際に学校や生徒の活動を見ないと、正しい評価ができないので、これはとても難しい部分である。
- ・生徒アンケートの「いじめや暴力のない学校生活に努めた」については95%の生徒が「努めた」と答えているが、保護者意見を見ると一致していない。また部活動中、顧問の強い指導について触れている保護者がいるので指導をしてもらいたい。多分、新型コロナウイルスの影響で保護者も不安になっているので、厳しい意見を書いたのではないかな。日々の子どもの姿を見ていて違ふと思う。学級通信等を工夫することが有効と思う。
- ・清掃をしている生徒の姿を見たが、寒い中廊下に膝をつき、一生懸命送辞をしている姿がとても素晴らしい。子どもたちには白山中生徒としてのプライドがあるのを感じる。
- ・学校評議員として、書き初め練習会の授業を見て、一生懸命な姿を見て安心した。他の保護者にも見てもらいたい。